

平成29年度 宮城県加美農業高等学校 「志教育」年間指導計画

3つの視点			かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	かかわる	もどめる	はたす	
各教科指導目標	国語	◎	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	○	
	地理歴史	◎	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	○	
	公民	◎	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	○	
	数学	◎	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	○	
理科	◎	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	
保健体育	◎	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	
芸術	◎	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	
外国語	◎	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	
家庭	◎	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	
農業	◎	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	
工業	◎	○	○	◎	○	○	◎	◎	○	○	◎	○	○	◎	○	○	◎	
<p>国語の様々な文章を読んだり、適切に表現したりすることで、言語文化に対する興味を持ち理解を深める。読書に親しみ、国語の向上や社会生活の充実を図る。</p> <p>時が流れるにつれ人々の価値観は変わっていくことを学ぶことにより、現代の価値観やひとりひとりの価値観のちがいについて考える。</p> <p>社会権が私たちの生活をどのように変えたかを考えるとともに、参政権の役割や国家への請求について考える。</p> <p>数学的活動を通して、社会や日常生活との関連を図りながら、数学のよさを認識し、それらを積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。</p> <p>日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力と態度を育てる。</p> <p>主体的に課題に挑戦し、ルールやマナーを守り、自己の責任を果たしたり集団の合意形成に貢献したりすることのできる態度を育てる。</p> <p>芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、豊かな情操を養う。</p> <p>言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図り、情報や考えを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を養う。</p> <p>家族・家庭の意義と社会とのかわりについて理解させるとともに、生活に必要な知識と技術を習得させ、家庭や地域の生活を創造する能力と主体的に実践する態度を育てる。</p> <p>農業の基礎・基本を重視しつつ、環境に結びつけた農業教育を推進し、農業及び農業関連産業に従事する経営者の育成を図る。</p> <p>ものづくりを通して、専門的知識や技術を習得させ、工業の発展や産業社会に貢献できる能力と実践的な態度を育てる。</p>																		
学年共通									各学年指導目標									
指導内容	① 挨拶の励行	◎	○	○	1年	◎	○	◎	1年	◎	○	◎	○	◎	○	◎	○	
	② 朝課題の提出	◎	○	◎														◎と連携した規則正しい生活習慣を確立する
	③ 清掃活動の徹底	◎	○	◎	◎ PDCAや朝課題・週末課題・寮課題をとおして、学習習慣を確立を支援する													
	④ 清楚な身だしなみ	◎	○	◎	◎ 諸活動への参加を促し、自主的・主体的態度を育てる													
	⑤ 週末課題の提出	◎	○	◎	◎ 進路行事や個人面談を通じ、進路意識の高揚に努める													
	⑥ ベル着の励行	◎	○	◎	◎ 中堅学年としての自覚と基本的生活習慣の確立													
指導内容									ねらい									
1年	目標達成型自己管理プログラム	学習・生活状況(友人関係を含む)の記録に、先生からのコメントを加えて相乗的な効果を図るもの							その他	1年中	※	◎	○	○				
	「志」準備講話	高校生活を将来の目標や自己実現に向けて、どのように位置づけていくのかを考えさせるもの							特別活動	5月	1	◎	○	○				
	社会人インタビュー	働く目的や社会貢献の大切さ、一生涯勉強という意識を通して、身近な大人について理解するもの							その他	7・8月	2	◎	○	○				
	インターシップ報告会から事前準備講習	働くことによって、他者を助け、自分が成長できることを気づかせ、自分らしい生き方を考えさせる							特別活動	11月～	5	◎	○	○				
	企業見学事前学習から見学事後学習まで	職場の理解、社会経済のサイクルについて学ばせ、先輩の働く姿から自分の将来を考えさせるもの							特別活動	12月	12	◎	○	○				
2年	社会人講話	職業について理解を深め、自分自身の達成度を顧み、目標設定を自覚させるもの							特別活動	6月	1	◎	○	○				
	インターンシップ(3日間)	考えてきた働くイメージや自己の適性について、実践を通して挑戦してみる機会							学年行事	7月	24	◎	○	○				
	進路別講習会	進学・公務員・就職の進路別より実践的な、「なるため」の手法と時間軸をイメージさせるもの							特別活動	11月	2	◎	○	○				
	インターンシップ報告会	実施のまとめを先輩に伝達することにより、目標をより現実的で意欲的なものにするもの							特別活動	11月	1	◎	○	○				
	自己啓発セミナー(1日)	高校生活を振り返り、個性・適性・強み・働く意義をまとめさせることによって自信を持たせるもの							その他	3月	6	◎	○	○				
3年	進路決定シミュレーション	進路別の決定プロセスを体験させることにより、主体的な3年次の行動ビジョンを描かせるもの							その他	3月	3	◎	○	○				
	面接講習会等(全6回)	専任講師、教員、地元経営者からの知識や応答例を踏まえ、高校生活をより深く振りかえる							その他	4から9月	16	◎	○	○				
	応募前見学・オープンキャンパス(5社まで)	自身の主体的な進路選択に向け、保護者・学校が協力して支援する体制への理解を深める機会							その他	7月から	10	◎	○	○				
	進路別課外ゼミ(希望者)	進路実現に向けて何が必要なかを自ら考え、その解決に取り組み実力を向上させるもの							その他	7月から	10	◎	○	○				
入社準備セミナー(全4回)	就職・進学によらず、新生活を有意義に送れるようマナーやコミュニケーション力の重要性を理解させるもの							特別活動	11月から	6	◎	○	○					
											合計時数	99						